



コマニーグループ CSR報告書 2017



コマニーはこう考えます

社是

我等の精神は人道と友愛である

「人道」とは人間として何が正しいかを考えて正道を歩むことであり、「友愛」とは仲間に対して家族のように親愛の情をもって接し、互いの成長を願って切磋琢磨していこうというものです。

本当に大事なものは、「金銭ではなく心である」つまり人と人、心と心のつながりを最も大切なものとして経営の基軸に据えることがコマニーであると創業者が明示し、その精神は今も脈々と受け継がれています。

経営の理念

全従業員の物心^{しあわせ}両面の幸福を追求すると同時に、 人類、社会の進歩発展に貢献する

会社が存在する目的として示しているのが、経営の理念です。

コマニーが存在する目的は、そこに集う全従業員が仕事を通じて物と心の両面の幸福を追求することです。それは、人間として正しい道(人道)を貫き、自分のためでなく、人のためにという利他の実践を通じて事業の発展によって社会に貢献することで実現できると考えています。

コマニーは小松のまち・人に育まりました



小松空港



勸進帳の里 安宅の関



名産品「トマト」



那谷寺



あわづ温泉



尾小屋鉱山資料館・
メインロード



コマニー野球部



子供歌舞伎



小松うどん



木場潟カヌー競技場



石川県
こまつ芸術劇場うらら



小松市の
木(松)・花(梅)



こまつドーム



航空自衛隊
小松基地



サイエンスヒルズこまつ



鞍掛山
トンボの楽園

企業は世の中の幸福に貢献するために存在すべきだと考えています

「現代の世の中は乱気流の時代である」とマネジメントの父ドラッカー氏が表現されてから四半世紀、現在はまさに乱気流が常態化しているように思います。我が国では、人口減少、少子高齢化、正規雇用者数減少における若者の低所得化、晩婚化などの社会問題に加え、震災や水害、噴火などの天災が相次ぎ、先行きが見えない状況が続いています。世界に目を向けますと、依然として戦争やテロが頻発し、世界の過半数がBOPといわれる低所得層の方々が占め、十分な生活ができていない現状があります。

昨今、企業の社会的責任(CSR)の重要性が取り沙汰されておりますが、「我々企業の役割は何か」と今こそ問われているのではないかと思います。そもそも企業の存在意義とは何かと考えますと、まさに乱気流の時代である現代の中で、起きている問題や課題に向き合い、人や社会や世の中がより豊かで幸福になるために営んでいくことではないかと思うのです。

私たちコマニーは、まずベースとして「企業は世の中の幸福に貢献するために存在すべきである」という確固たる信念をもち、この実現のために活動してまいります。そして私たちは、創業当初より「我等の精神は人道と友愛である」という社是を掲げ、人間として正しいことを貫くということ、仲間や人を思いやる心をもち、切磋琢磨してお互いに成長発展していくことを大切にして経営を行ってまいりました。この精神のもと、私たちは経営の理念にありますとおり「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献する」ということの実現に向け、邁進してまいります。

コマニーの事業は、パーティションとともに歩んできました。日本が高度経済成長に活気づいている約50年前、立ち並ぶオフィスビルの中に働く空間をつくることから私たちの事業はスタートしました。それから、半世紀が経ち、オフィスにとどまらず、工場、病院、福祉施設、教育施設、公共施設など、多くの空間を創造してきました。私たちはこれからも、人が、より良く働き、より良く学び、より良く生きるための環境づくり、人づくりができるよう、知識を高め技術を磨き、絶えず前進してまいります。

さらに、私たちは世の中の幸福により大きく貢献できるよう、事業活動を通じて得られた利益を事業充実のための投資や、株主様への還元、従業員の物心両面の幸福、社会貢献活動などに有効活用し、貢献の循環を生むよう努めてまいります。

私たちが目指すCSRとは、事業活動のすべてにおいて、人、社会、環境との調和の中で共存共栄し、人類、社会の進歩発展に貢献すること、そして、それを通じて当社に集う全従業員が生きがい、働きがいを感じていきいきと生きることを実現することです。

代表取締役 社長執行役員

塚本 幹雄



コマニーグループCSR方針

私たちコマニーグループは、企業は世の中の幸福に貢献するために存在すべきであるという信念のもと、創業当初より貫いてきた人道と友愛の精神をもち、幸福にすべき全てのステークホルダーの皆様、社会全体との共存共栄のうえに持続可能な未来を築いていくことに努めてまいります。

1 お客様第一の追求

私たちは、お客様に感動と満足を得ていただくため、商品の開発から販売・生産・施工・サービスに至るまで、常にお客様を第一に考え、安全で高品質な、環境に優しい商品をご提供することによって、快適空間・機能空間を創造してまいります。

2 お取引先様(サプライヤー)とのパートナーシップ

私たちは、お取引先様とともに技術を高め、世の中の成長・発展に貢献するため、誠実で公正な取引を旨とし、パートナーとして共存共栄の関係を築き、最適な商材を安定的に供給することを目指してまいります。

3 地球環境との共存

私たちは、後世に美しい地球環境を残すため、「パーティション」そのものがもつエコ特性を生かし、商品展開を推進すると共に、生産活動において発生するエネルギーに対しても省エネ対策に取り組み、自然と共生できる企業活動を推進してまいります。

4 人間性尊重の職場づくり

私たちは、すべての従業員が主役となり、働きがいと成長を感じられる職場環境を実現するため、一人一人の人間性を尊重し、活躍の場を与えられる制度づくりと、常に明るく前向きに活動できる組織風土づくりに努めてまいります。

5 社会貢献活動

私たちは、将来にわたって子どもたちに明るい未来を残すため、従業員自らの良心によって主体的に活動することを基本に考え、地域貢献、日本貢献、世界貢献に取り組んでまいります。

6 コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

私たちは、経営の理念をもとに、企業価値を増大させ、経営効率を高め、公正で迅速な意思決定の向上に努めていくことをコーポレート・ガバナンスの基本方針としております。

今後も経営の健全性および透明性を確保するために、経営監督機能および法令遵守体制強化の重要性を認識し、コーポレート・ガバナンスの充実を図ってまいります。



コマニーグループのCSR

私たちコマニーグループは、当社の経営の理念「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献する」のもと、全従業員がこれを共有・実践し、社会から信頼され、愛される企業を目指します。

社会・お客様から必要とされ、信頼に満ちた企業であるために



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



持続可能な開発目標(SDGs)、通称「グローバル・ゴールズ」は、貧困に終止符を打ち、地球を保護し、すべての人が平和と豊かさを楽しむことができるようにすることを目指して、国連加盟国によって採択された普遍的な17の国際目標です。

私たちコマニーグループは、「人道と友愛」の精神と、CSR方針にある「企業は世の中の幸福に貢献するために存在すべきである」という信念のもと、「持続可能な開発目標」に賛同し、持続可能な未来を築いていくことに努めてまいります。

経営理念/トップメッセージ

社是・経営の理念
トップメッセージ
コマニーグループのCSR

Topics

事業継続計画(BCP)への貢献
コマニーのユニバーサルデザイン

1 お客様第一の追求

- 1-1 製品への取り組み
- 1-2 品質への取り組み
- 1-3 コマニースマート施工

2 お取引先様(サプライヤー)とのパートナーシップ

3 地球環境との共存

4 人間性尊重の職場づくり

- 4-1 人づくり
- 4-2 ダイバーシティの推進
- 4-3 ワーク・ライフ・バランス
- 4-4 安心・安全に働ける職場づくり

5 社会貢献活動

- 5-1 地域貢献
- 5-2 日本貢献
- 5-3 世界貢献

6 コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

1.高耐震間仕切「シンクロン」

30年以内に70%の確率で起きるとされる首都直下地震や南海トラフ地震。オフィスなどの室内空間の被害軽減（減災）や従業員の安全性を確保することは、事業継続計画（BCP）策定や事業継続マネジメント（BCM）の最も基本的な取り組みです。

室内空間づくりに欠かせないパーティションにも、これまで以上に耐震性能が求められる時代になっています。このような時代背景を踏まえ、業界基準の3倍以上の耐震性能を備えた「シンクロン」が誕生しました。

パーティションの高耐震化を推進することで、安心・安全を求めるユーザーのご期待に応えると同時に、業界のリーダーとして社会全体の防災力向上に貢献していきます。

「シンクロン」開発の始まり

東日本大震災を受け、地震に強く、安心な商品であるというパーティションへの認識が覆えさせられました。しかし、このままではいけない、「パーティションは地震に強く安心な商品であるべきだ」と強く思い、「シンクロン」の開発が始まりました。

そして、これから起きるであろう東南海地震や関東での直下型地震に対して、より多くの人たちの命を守るために、速いスピードで普及することが重要だと考え、この技術を世の中にオープンにし、より大きな社会への貢献へとつなげていこうと決心し、活動を進めてきました。



《製品開発二課》 蔵 敬雄

被災地を訪れ、何もかも壊れてしまった状況を見て、もうこれ以上壊れる心配のないパーティションをつくりたいと強く感じました。

そして、世の中に早く、安価で安全性が認められた製品を届けたいという思いで、金沢工業大学の高島教授にご協力いただき、500回以上の試験を重ね、高耐震間仕切「シンクロン」が誕生しました。



地震や豪雨などの自然災害が常態化しつつある昨今、企業においても大切な従業員の安全や、設備を守り、事業の継続や復旧を図るための計画が求められています。そんなお客様のご要望にお応えし、さらには日本全体を有事に強い国にすることを目指しています。

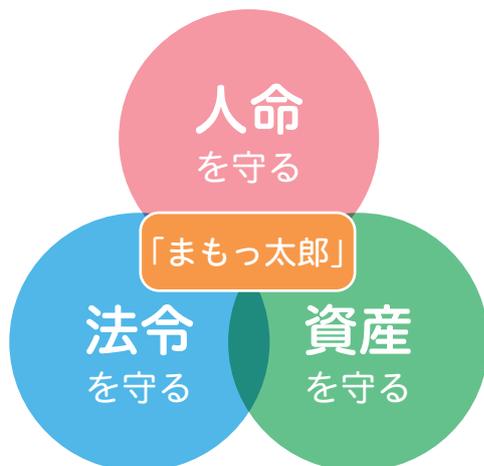
2.耐火ファクトリーブース「まもっ太郎」

法令遵守、事業継続計画（BCP）に取り組むと同時に、日々変化する市場ニーズに合わせて、常に最適化が求められる生産現場。耐火ファクトリーブース「まもっ太郎」は、建築基準法の面積区画免除を受けている生産現場内ルーム用に開発された製品です。遵法対応に加え、組立工法による柔軟性を備えており、在来工法では困難な、短工期や将来の変化に素早く応えることができます。

「まもっ太郎」は、防火区画が要求されるエリアの休憩室、事務室、検査室、マシンルーム設置に欠かせない製品として、日本のモノづくりの中核を担う生産現場へ安心・安全を届けています。



「まもっ太郎」の3つの貢献



《製品開発一課》今川 隼人

耐火ファクトリーブースは、①法規制対応 ②構造強度 ③現地加工レス ④短工期施工の4点にこだわりました。

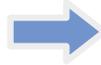
特に、強度を確保しつつ、シンプルな構造を実現するにはどう設計するか?という点に苦労しました。

お客様にとって、生産ラインを長期間止めることは大変な負担ですし、火災や地震等で倒壊しては意味がありません。

お客様に安心・安全を提供できる製品に仕上がったと思います。



なぜ今、
ユニバーサルデザインが
求められているのか？



- ・高齢化
- ・17人に1人が障害者
- ・外国人の増加
(言語・宗教への配慮)
- ・性的マイノリティ

コマニーのユニバーサルデザインの始まり

コマニーのユニバーサルデザインは障害当事者参加のワークショップに参加し、メーカーの自己満足の製品開発ではなく、当事者の話を聞くことの大切さを改めて実感した経験から始まりました。

◆大切にしているキーワード

医療機関、研究機関、
利用者と **繋がる**



医療関係者や大学などの専門家と
共同で被験者検証実験を
行っています。

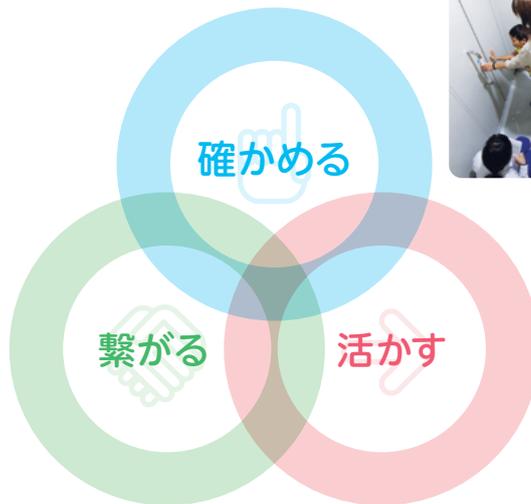
さまざまな方に、
製品を使っただき **確かめる**



小さな子どもやお母さん、
車いすの人などいろいろな人の
声を大切にしています。

→ 実際のお客様の声を **活かす**

ワークショップに
参加するなど
検証ではわからない
お客様の生の声を
大切にしています。



◆大切にしているユニバーサルデザインUD4原則

①安心して使えること

「怖い」「不安だな」と思うことなく
安心して使えること

②無理な体勢にならないこと

姿勢や身体の動きに無理がなく
楽に使えること

③誰もが快適に使えること

「障害者専用」と特別扱いせず、プライバ
シーやデザイン性にも配慮していること

④選択できること

使用時の状況や使う人の状態に応じて
選択できること

障害のあるなしに関わらず、様々な人種、性別、年齢の方に分け隔てなくご利用いただく製品の開発を通して、快適で機能的な空間を世の中にご提供しています。

～誰もが安心して、快適に利用できるオフィストイレを追求して～

金沢大学様・LIXIL様・コマニーの3者にて、「オフィストイレのオールジェンダー利用に関する研究会」を発足しました。

13人に1人が性的マイノリティ(レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーなど)とされている中、特に公共でのトイレ利用において、様々な課題があります。当事者と同時に、その他大勢の声も大切にしてみんなが使いやすいオフィストイレのあるべき姿を追求します。



《研究開発課》高橋 未樹子

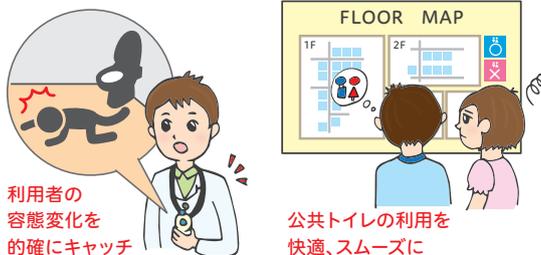
「一人でも多くの方がより快適に安全に使いやすいように」というユニバーサルデザインの考え方は、障害者やお年寄りのためだけのものではありません。年齢や国籍、性別等によらずみんなが使いやすい社会の実現のために、パーティションだけでなく、構成される空間、ソフト面含めて、さまざまな人の声を大切にしながら今後も研究を続けていきます。そしていつか、今「障害者」の方がそう呼ばれなくなるような社会の実現のお手伝いが少しでもできたらと思います。



IoT技術を活用したトイレ使用状況把握システム

トイレ空間で新たなデータを取得することで、より快適で使いやすいトイレを提供します。

トイレの混雑や急変対応など、今までは解決が難しかった課題についてもIoT技術の活用で対応できるようになります。



今後も、IoTやAIに代表されるデジタルテクノロジーの積極的な活用法を模索していき、新たな付加価値提供を目指していきます。

《研究開発課》大浦 航平

パーティションは、オフィスや工場、学校や病院など、空間に存在する様々なデータを取得できる可能性を秘めています。

IoTの取り組みは始まったばかりですが、「誰のために、どのような価値を生み出すのか」を、しっかり考えながら進めていきたいと思っています。



1 お客様第一の追求

私たちは、お客様に感動と満足を得ていただくため、商品の開発から販売・生産・施工・サービスに至るまで、常にお客様を第一に考え、安全で高品質な、環境に優しい商品をご提供することによって、快適空間・機能空間を創造してまいります。

1-1 製品への取り組み

コマニーは、これまで培ってきた数々の技術的ノウハウをベースに、「品質・機能」「安心・安全」「環境・社会貢献」の3つをコンセプトに掲げ、お客様に感動という最高の価値を提供すべく、快適空間・機能空間を演出できる「モノづくり」を目指してきました。今回、さらにプロダクトデザインの観点から、「品格・快適」といった五感に訴える価値創造にも取り組んでいます。

コマニー製品開発の4つのコンセプト

これまでの3つのコンセプト「品質・機能」「安心・安全」「環境・社会貢献」に、新たに「品格・快適」を追加しました。



2016年度の新商品・取り組み活動

コマニー製品開発コンセプトのもと、2016年度は14製品の開発を行いました。主な商品を紹介いたします。

①高耐震間仕切「シンクロン」

2年半にもわたる金沢工業大学との共同研究も含め、合計4年半にもわたる耐震研究の結果生まれた高耐震間仕切「シンクロン」を主力製品であるスチール製品(EUP・SW)やアルミ製品(SL・PL)に搭載しました。

※P5に詳細内容を記載しています。



②耐火ファクトリーブース「まもっ太郎」

各企業のBCP(事業継続計画)にお応えすべく、合法かつ確実な性能を有した耐火ファクトリーブース「まもっ太郎」は、大型ファクトリーブースも対応しています。

※P6に詳細内容を記載しています。



③新表装仕上げ「いこち」

これまでただ単色塗装だったパネル表装仕上げに、壁紙のように模様と凹凸感が備わった白色ベースの新表装仕上げを設定しました。この技術やデザイン性は2015年の石川県プロダクトデザイン賞を受賞しています。



④五感に訴えるトイレブース

人の五感に訴えるべく、木目調のスチール鋼板仕上げでエッジを使用しない高級感のあるトイレブース「グレードS」や扉に目地デザインを施したトイレブース「リネアート」を発売しました。





コマニー製品開発の5つのこだわり

1. 安定した品質・機能を追求した製品開発

私たちはお客様に安定した品質・機能をもつ商品をお届けすることを追求しています。そのため、国内基準よりも厳しい社内基準を定め、厳しい社内試験を実施し、基準に適合した製品開発を行っています。



社内試験風景



2. ユニバーサルデザインを基軸とした製品開発

人にやさしく安心・安全を目指したモノづくりを目指し、すべての人が便利に、快適に使える商品をご提供するために、ユニバーサルデザインを基軸とした研究を重ねております。この研究成果として生まれた製品の「ディアード」が2016年度のグッドデザイン賞を受賞しました。

グッドデザイン賞受賞「ディアード」



3. 環境に配慮した製品開発

多様な命を育む美しい地球を次世代へと受け継いでいくために、環境保護に配慮したエコ商品の開発に取り組んでいます。現在、パーティションの主材料として使われている亜鉛メッキ鋼板の6価クロムフリー化を目指しています。

エコ商品とは

区分	基準
エコマーク認定商品	(公財)日本環境協会が認定するエコマーク商品
グリーン購入法適合商品	グリーン購入法に定める基準に適合した商品
コマニーエコラベル商品	コマニーオリジナルの社内基準に適合した商品

4. 基礎技術の蓄積、新規および応用技術へのチャレンジ

お客様のニーズは常に変化し続け、世の中の技術も進化を続けています。そのお客様の多様なご要望にお応えし、商品付加価値を向上させるために、大学機関や公的研究機関、異業種企業などと共同研究を行い、基礎技術を蓄積するとともに、新しい技術・応用技術に対して常にチャレンジしています。



5. 人の五感に訴えるモノづくりへのチャレンジ

コマニーでは新たにお客様の五感に訴えるモノづくりを推進しています。これはプロダクトデザインの視点を製品開発プロセスの中に取り入れ、快適性や機能性に加えて人の感性に届く製品づくりを目指しています。



1 お客様第一の追求

1-2 品質への取り組み

コマニーでは、愛情のこもった完璧な品質の製品・サービスを提供することで、お客様に感動と満足をしていただき、信頼される企業活動を推進しております。そのために右記の4点に徹底して取り組み、多くのお客様に喜んでいただくとともに、社会に貢献してまいります。

- ① 製品仕様の法令遵守の徹底
- ② お客様からのクレーム・苦情ゼロの追求
- ③ 常に市場とリンクした品質基準のフィードバック
- ④ 小集団活動による技術力の向上

品質方針

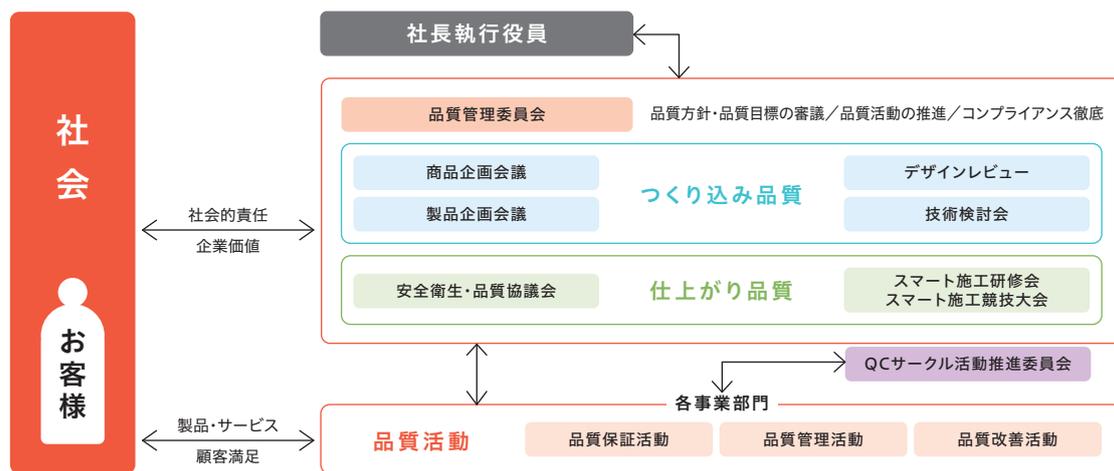
お客様の要求品質を的確につかみ、お客様に信頼され、満足していただける製品・サービスを提供できるよう

1. 設計・製造でのつくり込み品質の向上
2. 施工での仕上がり品質の向上
3. 顧客満足度の向上

これらを品質方針とし、それぞれの品質目標を設定し、定期的を確認を行い、製品およびマネジメントシステムの継続的改善を行います。

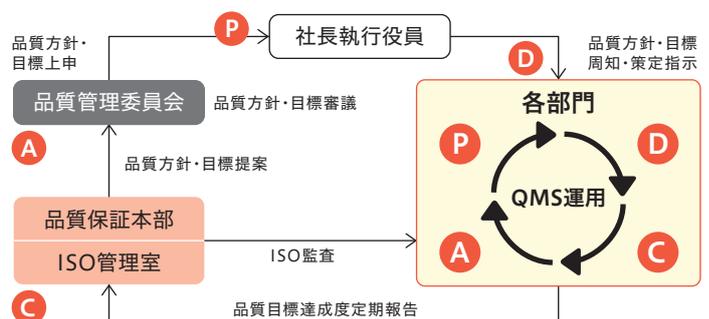
品質保証体制

コマニーでは、開発・製造から販売・施工・アフターサービスまで一貫してお客様満足の向上につながる製品品質の確保を目的として、全社横断の品質管理委員会を毎月開催しています。この委員会には、生産部門、物流部門、営業・工務部門、資材調達部門、施工部門の責任者が参加し、品質に関して様々な情報を共有するとともに、課題解決や改善計画についての意見交換を行っています。また、商品企画からサービスに至る各ステップにおいては、デザインレビューをはじめとする評価会・検討会や数多くの品質試験装置による性能試験を通して、徹底した品質確認を行っており、グループ全体で品質向上を図っています。



品質マネジメントシステム(QMS)の運用

コマニーでは、品質重視の製品づくり、サービス提供を徹底するため、全社品質マネジメントシステムを運用しています。全社で取り組む品質方針・目標や重要施策は、「品質管理委員会」での審議を経て、社長から各部門に提示され、各部門では、品質方針・目標に沿って部門目標を設定・活動いたします。





品質活動の取り組み

コマニーでは品質保証活動の企業への定着を目指し、業務と一体となった品質改善活動を実践しています。そのため、品質マネジメントシステムを運用するとともに、高いレベルの品質基準を設定し、常に安心・安全に視点を置いた各種試験を繰り返し行うとともに、モノづくりのベースである人づくりを重点として改善活動に取り組んでいます。

高いレベルの品質基準の設定

コマニーでは、お客様に安心・安全をお届けするために、公的規格・基準等を参考に適時品質基準の改訂を行いながら、厳しい品質基準を設定し、安定した高品質の商品をお客様にお届けしています。

安心・安全な製品づくり

コマニーでは、体系化された品質基準を適用した性能試験と耐久性試験を繰り返し行い、製品の安全性と品質機能を定期的に評価・確認しています。また、世界基準の燃焼試験装置を自社内に導入し、不燃認定を取得している製品に対しても、社内で定期的な不燃性能試験を行い、定められた性能を保持し続けているかを確認しています。



不燃燃焼試験装置



開閉試験風景

品質保証度手法を活用した不良撲滅活動

製造工程ではリスクアセスメントの一環として現状の各作業プロセスごとに予測される不良リスクと「不良を作らない、流さない」の保証度合いを比較評価し、お客様の信頼を得るために、人に頼るリスクを最小限に抑え、機械化や自動化へ移行させることにも取り組んでいます。



QC活動(小集団活動)を通じた人財育成

各職場ごとに結成されたグループが、方針に基づきテーマを挙げ、改善活動を行っています。優秀なグループは年2回開催される全社大会で、全社員に活動内容を披露し、お互いの改善技術をさらに磨き上げることを狙いとしています。また、優秀な成績を収めたグループは、社外の大会へも積極的にチャレンジし、レベル向上に努めています。



近年の社外大会参加状況および結果

年度	大会名	グループ	発表テーマ名	備考
2013	優秀改善事例全国大会2013	C3	工場一番の「お荷物ライン」から工場一番の「高効率ライン」への挑戦～私たち女性担当者が取り組んだ人に優しい作業への挑戦～	大会特別賞受賞(最高位)
2014	第5608回QCサークル運営事例選抜大会	メタモル	新生『中出ファミリー』が心の壁を取り除いて塗装技術の非常識を常識に変革した3年間の軌跡	銀賞受賞
2016	第5868回QCサークル改善事例発表大会	メタモル	塗装技術力を最大限に駆使してこれまで実現できなかったアルマイトクリアー材の1コート化実現への挑戦	金賞受賞

1 お客様第一の追求

1-3 コマニースマート施工

パーティションは、最終工程である施工の出来栄でお客様の評価が決まります。スマート施工とは、施工を完璧にやり遂げ、最高の商品をお届けすることでお客様に感動と信頼をしていただき、同時に施工技術者が誇りとやりがいを感じられることを目指したコマニー独自の取り組みです。

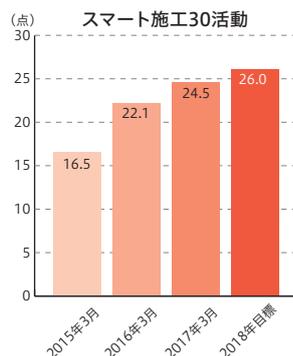
スマート施工の確立に向け、施工技術者が施工技術を磨くのはもちろん、人格を高め、品格ある所作を身に付けることにより、お客様から安心して仕事を任せていただける、超一流の施工体制の構築を推進しております。



○ スマート施工推進の取り組み

心と技を高めるスマート施工研修

グループ会社コマニーエンジニアリングの社内施工班を対象としたスマート施工30活動は、30の実践基準達成度を日々評価しています。その結果に基づき、施工研修は全施工班が集合教育を行いスマート施工の技術向上を図っています。これをモデルに協力業者への展開もしています。



おもてなしの心と技を競う全国スマート施工競技大会

全国スマート施工競技大会は、お客様から感動・安心・信頼いただける所作と技能向上を目的としています。施工協力業者と施工改革を進めるため、コマニーグループの施工が進む方向(ビジョン)を共有・共感する場として開催し、施工技術者が心と技を競い合います。

昨年は外部の方にも当社の施工への取り組みを知っていただくため、22社38名のお客様をご招待しました。



「ビルテナント工事 安全表彰」
受賞

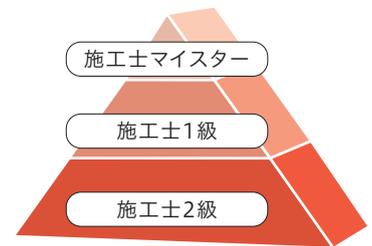
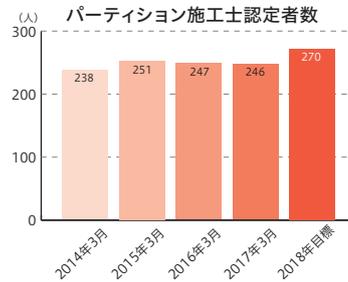
安全で安心できる施工として何が出来るかを追求し続ける継続的な活動(「パトロール実施報告書」の報告)をお客様より評価をいただきました。





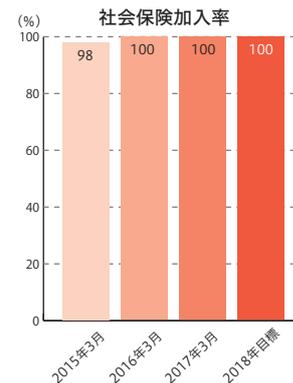
技術者の技能と地位向上を目指すコマニーパーティション施工士制度

スマート施工確立の一環であり、自己研鑽を奨励すると共に技術者の目指す技能を見える化した制度です。施工の際には、有資格者が担当しています。今期も有資格者270名を目指し、取り組んでいきます。



施工協力業者への社会保険制度加入促進

国交省より社会保険加入促進のため、2017年4月から未加入者の現場入場を禁止する指導が出ています。コマニーでは、これに先がけて2014年7月より加入業者に対し法定福利費支援を開始し、現在、契約業者の社会保険加入率100%を維持しています。今後も施工協力業者が安心して仕事ができる体制を構築していきます。



安全書類に必要な作業員情報管理のしくみ

労務安全書類を迅速かつ正確に作成・提出するため、グリーンサイト(株式会社MCデータプラス)を活用し、逐次更新にすることで現場作業員情報の最新管理をしています。

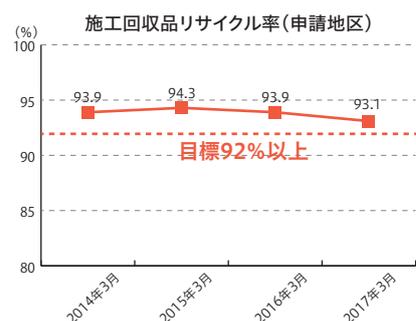
完璧施工と循環型社会形成へ向けた環境改善を両立した取り組み

パーティションは現場施工で完成品となることから、お客様に感動や信頼をいただくにはロスの無い完璧な施工を目指す必要があります。コマニーは仕事のプロセス改善により変更・後戻りや現場で加工・組立のない施工の実現に取り組んでいます。

仕事のプロセス改善取り組み例: 施工廃材極小化、現場加工レス、静音施工の推進

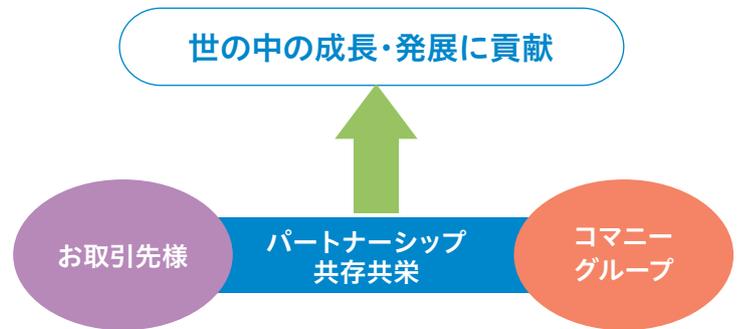
また、パーティションは解体・移設が容易な環境にやさしい商品です。コマニーでは不要となった解体品を材料まで分別、リサイクルするしくみがあり、業界初の広域認定を取得します。(首都圏をモデルに運用展開を予定)

広域認定は使用済み自社製品をお客様から回収リサイクルし循環型社会形成を狙いとした大臣認定です。



2 お取引先様(サプライヤー)との パートナーシップ

私たちは、お取引先様とともに技術を高め、世の中の成長・発展に貢献するため、誠実で公正な取引を旨とし、パートナーとして共存共栄の関係を築き、最適な商材を安定的に供給することを目指してまいります。



基本的な考え方

お互いがより良い方向に発展することをお互いのあるべき姿とし、お取引先様と協働して、品質・納期・価格・環境保全などを日々改善することにより、信頼関係を構築し、お互いの企業価値向上を図ります。

コマニーグループ購買基本方針

1. 共存共栄の精神

- ①売り手と買い手は常にパートナーとして平等であり、それぞれが効率よく効果的に協働することを基本とします
- ②お取引先様との長期的な信頼関係を構築し、相互協力により共に繁栄することを目指します
- ③お互いが社会貢献を目的に、自主的改善に取り組むことを促進します

2. 法令遵守

取引に当たり関連法令を遵守し、調達業務を遂行します

3. 取引の公平性

公平かつ公正な取引を行い、不当な取引制限を行いません

4. 地球環境に配慮した調達活動

自然環境・生態系への影響に配慮し、環境負荷の少ない調達品の選定により、地球環境の維持・改善に寄与します

○ 1.お取引先様の品質管理体制等の確認について

最適な商材を安定的に供給するため、継続契約のお取引先様につきましては、年度毎に「品質保証チェックリスト」によるアンケートを実施し、その返答結果にて「継続契約業者様評価表」を用い、確認しています。基準点に達していない場合は、不具合点をお伝えして改善された内容を確認していきます。

2.スキルアップサポート

品質向上活動

定期的にお取引先様の品質会議に参加させていただき、お取引先様とともに品質を高める活動を行っています。



お取引先様との図面技術向上活動

お互いの技術力向上のため、お取引先様と当社設計部門が交流を図り、意見交換できる場を設けています。



社内勉強会

公正な取引を継続して行うために、下請法講習会に毎年参画し、部内教育を通して理解を深めています。



3.地域支援

障害者支援活動1

障害者支援施設「社会福祉法人うめの木学園」様には知的障害者自立支援活動として、部品梱包を依頼しています。



障害者支援活動2

障害者支援施設「社会福祉法人なごみの郷」様との交流を通じ、当グループチャリティ活動にもご協力いただいています。



4.お取引先様との交流

コマニー大運動会

コマニー大運動会を通じ、お取引先様との交流を深めています。



コマフェス

お取引先様にもご参加いただき、地域社会への貢献に努めています。



3 地球環境との共存

私たちは、後世に美しい地球環境を残すため、「パーティション」そのものがもつエコ特性を生かし、商品展開を推進すると共に、生産活動において発生するエネルギーに対しても省エネ対策に取り組み、自然と共生できる企業活動を推進してまいります。

コマニーの環境保全活動

- ・二酸化炭素排出量削減
- ・不要物削減
- ・地域貢献活動
- ・エコ商品売上高比率増大



環境方針

コマニーは、パーティションにより屋内の快適空間・機能空間を創造し、お客様に提供することにより、社会の進歩発展に貢献する企業理念のもと、環境負荷の少ないパーティションの提供により、かけがえの無い地球環境の保全・保護を図り、自然と共生できる企業活動を目指します。

1. 環境関連の法規制およびその他要求事項は、遵守するに止まらず、技術的・経済的に可能な範囲で、自主基準ならびに手順を整備し、環境マネジメントシステムの継続的な改善と汚染の予防に努めます。
2. パーティションを提供する過程で、特に以下の項目については、環境目的ならびに環境目標を定め、環境保全に重点的に取り組みます。また、環境目的ならびに環境目標は定期的に見直し、必要に応じて改訂を行います。
 - (1) 地球環境温暖化防止のため、エネルギーの節約に努め温室効果ガスの排出を削減します。
 - (2) 循環型社会に対応したパーティションの供給と資源の有効利用を推進します。
 - (3) パーティションの製造からお客様の使用段階、更には廃棄の過程を考慮した製品を供給します。
 - (4) 地域社会の環境保全活動に貢献します。

環境マネジメント体制

製造・事務・製品・物流・施工・グループ子会社の6つの部会から構成する「環境保全委員会」を中心に、環境保全活動を進めています。



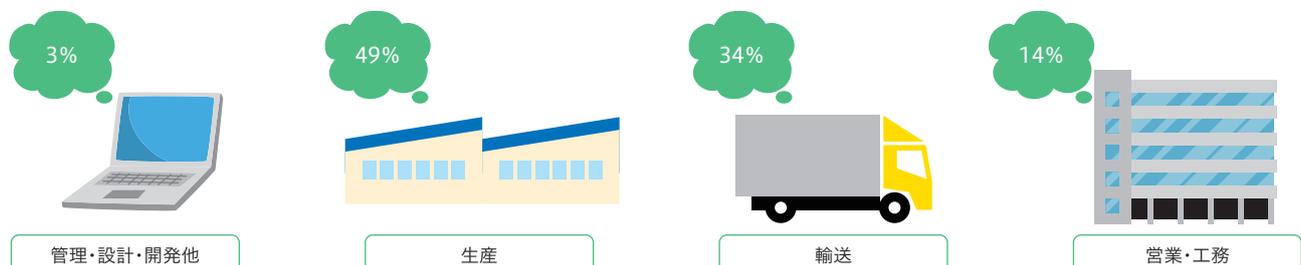
活動結果

2017年3月期アクションプラン

	2016年 3月期 実績	2017年 3月期 目標	2017年 3月期 実績	目標 達成 状況	2018年 3月期 目標
CO2総排出量(t-CO2)	6,900	6,694	6,633	○	6,434
CO2総排出量(原単位)(kgCO2/売上高)	0.231	0.230	0.219	○	0.211
不要物 総発生量(t)	3,989	3,712	3,519	○	3,484
不要物 量(原単位)(kg/売上高)	0.133	0.121	0.116	○	0.115
不要物 リサイクル率(%)	90.3	88.7	89.8	○	90.5
エコ商品売上率(%)	37.7	50.0	39.8	×	50.0

目標達成状況の自己評価 ○:達成 ×:未達成

業務プロセスごとのCO2排出量割合





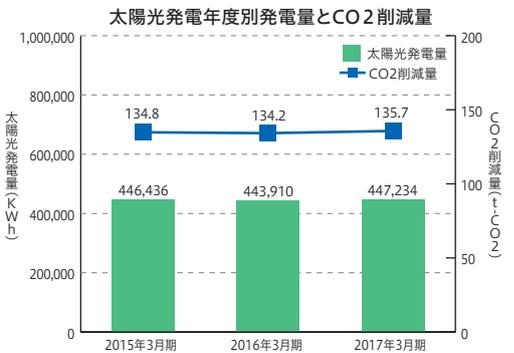
1. 環境保護活動の取り組み

太陽光発電システム稼働

2013年に、コマニー太陽光発電所が稼働を開始しました。太陽光発電を通じてCO₂の削減に寄与し、国内の再生可能エネルギー確保に貢献していくことを目的としています。発電電力は400kwで年間のCO₂削減量は135.7 t-CO₂となっています。(2017年3月期末実績)

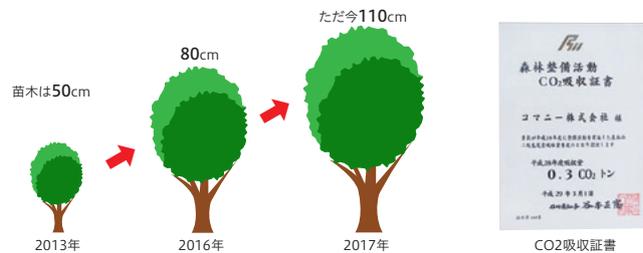


本社工場屋根への太陽光パネルの設置



「コマニー絆の森」 ～植林・保全活動～

2013年に石川県と協働して小松市内にグループ従業員とその家族で植林した「コマニー絆の森」のクロマツは、その後の維持管理活動ですくすくと成長し、毎年、0.3 t-CO₂の削減に繋がっています。



エコ商品の開発

「エコマーク認定商品」、「グリーン購入法適合商品」、「コマニーエコラベル商品」の3本柱でエコ商品を構成しています。この中でもコマニーエコラベル商品は、環境に配慮した製品を認定する当社独自の基準です。この基準を運用し、お客様の環境負荷低減をパーティションを通じてお手伝いしています。



グリーン購入法適合商品

物流段階におけるCO₂排出量削減の取り組み

出荷製品の輸送手段をトラックからCO₂排出量の少ない貨物列車などに切り替えるモーダルシフトのほか、1台のトラックで複数の物件を混載することによるトラック使用台数の削減を実践し、輸送によるCO₂排出量の削減を推進しています。



2. 今後の取り組み

マネジメントシステムの統合

ISO9001/14001規格が新たに2015年版へ改訂されたことに対応し、お客様の満足度と社会からの信頼性をさらに向上させることを目的として、事業活動とマネジメントシステムを一本化させ、効果的な事業活動を行っていきます。

さらなる再生可能エネルギーの創出

後世に美しい地球を残すために、環境にやさしい再生可能エネルギーの創出を可能な限り模索し、太陽光発電の増設や風力発電、地熱発電などの活用も検討していきます。

4 人間性尊重の職場づくり

私たちは、すべての従業員が主役となり、働きがいと成長を感じられる職場環境を実現するため、一人一人の人間性を尊重し、活躍の場を与えられる制度づくりと、常に明るく前向きに活動できる組織風土づくりに努めてまいります。

4-1 人づくり

○ 人財育成について

自ら成長し続けることができる人財を育成する

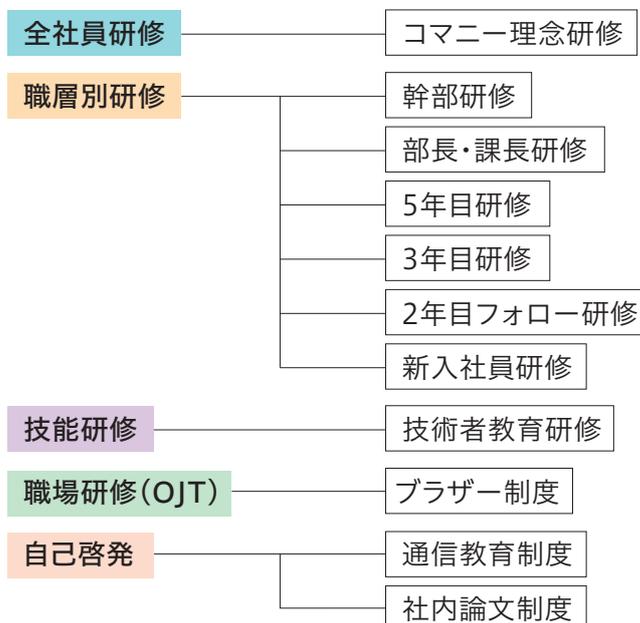
一緒に働く従業員に求める3つのこと

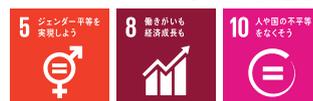


コマニーではこの3つをととても大切にしています。

専門的な知識やスキルは、仕事を進める上で身に付けていくことが可能ですが、それはこの3つができていないことではじめて結果につながるものだと考えています。そこで、自らの成長のためには、まず自ら考え、自ら答えを出し、自ら動いてみるのが大切であると考えます。動いた先には必ず結果が出ます。良くも悪くも結果が出たということは、その結果の体験ができたということです。結果から気づきや学びを得、成長することができる、そこには無限の可能性が広がります。コマニーでは、従業員全員が、その可能性を信じ、自らの力を最大限発揮できる研修や制度を設けています。

社員教育研修体系図





理念研修

「コマニー理念」を体得するための研修です。グループ社員全員が毎年受講し、「心をベースとして経営する」「利他の心を判断基準にする」といったコマニーが大切にしている理念の体得を中心に、仕事との向き合い方や、コミュニケーションの取り方などを学びます。



幹部研修

幹部としての考え方や部下育成に対する心の在り方など、経営者としての哲学・スキルを学びます。



部長・課長研修

幹部の学びを、部長・課長で共有し、責任者としてのレベルアップを行います。



新入社員研修

入社から約半年間は合宿研修やボランティア研修、座学、実習などを通じコマニー理念や基礎知識、問題解決能力の習得に取り組んでいます。



2年目フォロー研修・3年目研修・5年目研修

社会人として経験したことを、さらにステップアップするために、目指すべき姿を描き、人間力の向上に取り組んでいます。



技術者教育研修

より専門性の高い技術力を磨くため、専門知識を習得し、現場力を高める技術者集団を目指すことを目的に教育を行っています。



ブラザー制度

各部署に配属後半年間は、新入社員1名に対し、先輩社員(ブラザー)1名が付き、仕事の進め方から時にはプライベートなことまで、公私にわたりバックアップします。



通信教育制度

従業員の自己啓発による能力開発を目的とした通信教育講座を設け、自身に必要な講座を受講することで従業員の能力向上を目指しています。



社内論文制度

自分の思いや考えを経営層に直接アピールできる制度です。応募された論文に社長自らが目を通し、優秀な論文は社長賞として社内発表されます。



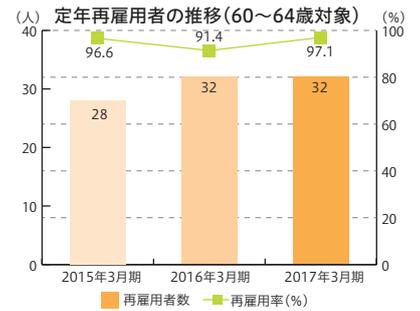
4 人間性尊重の職場づくり

4-2 ダイバーシティの推進

ダイバーシティから生まれる活力が企業の発展を支えます。
従業員一人一人のもつ多様な能力を発揮できる組織の実現を図っております。

1. 定年後の再雇用

当社では、働く意欲のある定年退職者が、自らのスキルを遺憾なく発揮できる職場づくりを目指し、シニアパートナーとして、再雇用する制度を導入しています。
2017年3月現在、再雇用者は32名で、定年退職者は1名でした。再雇用率は97.0%となっております。

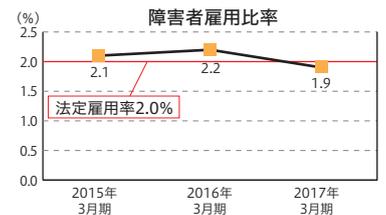


2. 女性従業員の活躍に向けて

現在の女性管理職は10名(2017年3月現在)です。女性従業員による「女性の働き方」の理想モデルを追求するためのプロジェクトチームを充足させ、その能力を発揮できるしくみ、制度の構築を図っていきます。

3. 障害者雇用の促進

障害者が、個々の持ち味を発揮できる人財を採用します。
障害者雇用率は、1.9%(2017年3月現在)となっておりますが、今後も積極的に障害者雇用を行い、障害者が働きやすい職場環境づくりを行っていきます。また通勤が困難な方は、在宅勤務も可能となっております。



4. 性的指向への対応について

性別・性的指向による差別をなくし、社内勉強会を実施し理解を深めることにより、人間性尊重の職場づくりを行っています。

4-3 ワーク・ライフ・バランス

従業員一人一人が働く喜びと充実した生活が送れるように、働きやすい職場環境づくりに努めています。

1. 仕事と生活(育児・介護)の両立支援体制の構築

育児・介護の規程を整備し、「時差勤務」「時短勤務」を活用し安心して働ける職場づくりに努めています。育児休暇取得率は85.7%、また第一子出産後の継続就業率も90.0%と全国平均より高水準となっております。(2017年3月現在)

育児制度利用者の推移

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期
育児休暇取得比率	100.0%	100.0%	85.7%
時短勤務者比率	100.0%	90.0%	90.0%
第一子出産継続就業率	100.0%	90.0%	90.0%

2. メリハリのある働き方の推進

労働時間の管理

労働基準法や労働協約に基づき、適切な労働時間、時間外労働、休日・休暇などに関する規則を就業規程に定めています。特に長時間労働を抑制するために、就業管理システムにて、一定の超過時間に達した時点で警告を出すなどの工夫を行っています。また、週一回全員定時退社する「ノー残業デー」の設定や「朝型勤務の推進」など、従業員の健康に配慮した取り組みを実施しております。

有給休暇の取得しやすい環境づくり

長時間労働や有給休暇取得率の低さが社会課題になっている現在、長時間労働の抑制や有給休暇を取得しやすい職場環境づくりを目指しています。





4-4 安心・安全に働ける職場づくり

私たちは従業員の安全・健康が企業活動の基盤であると確信しています。

当社では、従業員の安全と健康を確保するために、総括安全衛生委員会における諸活動を通じて、「安全第一」の精神を基本に災害の未然防止を重点に行い、また健康管理面では健診を充実させるとともに、メンタルヘルスにも取り組み、従業員が安心して働ける職場環境づくりを推進しております。

1. 安全衛生基本方針

コマニーグループ行動規範において、人間性尊重の職場づくりを第一に掲げ、本社・営業所、およびグループ会社の従業員一人一人が安全衛生に対する意識を高め続け、有意注意で未然防止の観点から危険の芽を摘み取り、再発防止にも努めることで従業員が健康で安全に働ける職場環境に取り組みます。

2. 安全の目標

不慮災害発生件数 0件/年

交通事故発生件数 0件/年

3. 重点実施活動

安全衛生の取り組み

小さな危険の芽を見逃さず、労働災害を未然に防ぐとともに、従業員の健康状態の把握に努め、メンタル対策にも取り組んでいます。

- ・リスクアセスメント活動、ヒヤリ・ハット、危険予知活動の実施 1回/月
- ・従業員のストレスチェック実施 1回/年



交通安全の取り組み

安全運転管理者を中心に、車両管理、安全運転への意識を高める啓蒙活動を行い、事故の未然防止に取り組んでいます。

- ・衝突回避機能を搭載した社用車の導入
- ・交通安全についての啓蒙[交通安全講習会の実施等]
- ・通信やGPS機能を備えた車載機の搭載による車両の運行管理



防災・防火の取り組み

災害・緊急時の対応力を強化するために訓練を実施し、非常時でも従業員の安否確認できる体制構築に取り組んでいます。

- ・本社：防災訓練1回/年、防火訓練5回/年
- ・営業所：各テナントの防火・防災訓練への参加
- ・震度5弱以上の発災時、安否確認メール自動送信により、迅速な従業員の安否確認体制を構築
- ・大規模震災に備えた備蓄品の整備



5 社会貢献活動

私たちは、将来にわたって子どもたちに明るい未来を残すため、従業員自らの良心によって主体的に活動することを基本に考え、地域貢献、日本貢献、世界貢献に取り組んでまいります。

コマニーの社会貢献活動

私たちは「企業は世の中の幸福に貢献するために存在すべき」という信念のもと、企業活動を行っています。その活動は私たちの事業活動にとどまらず、それによって得られた利益と私たちのもつ良心と人的リソースを最大限に発揮し、より貢献を広げるために何ができるかを考え、行動することで社会貢献活動を展開しております。将来にわたって、より明るい未来を築いていくことができるように、私たち一人一人が主体的に考え、自らの良心によって主体的に活動することを大切にしてい地域貢献、日本貢献、世界貢献に取り組んでまいります。



5-1 地域貢献

コマニー発祥の地であり、ともに歩んできた地元のお役に立ちたいと、地域でさまざまな活動を展開しています。

コマフェス

真夏の恒例イベントとなったコマフェスは、従業員が自ら考え、従業員自らが楽しみながら行う社会貢献活動です。新入社員のよさこい披露や子どもたちへのモノづくり教室、コンサートなどが行われ、今年は、地域の福祉施設の方々も参加され、貢献の輪がさらに広がりました。集められたエコキャップやプルタブ、模擬店やフリーマーケットでの収益の全額を、小松市をはじめ、各団体に寄付を行い、発展途上国の子どもへのワクチンや車いすの寄贈などへ役立てられています。



福祉施設でのボランティア活動

新入社員が、地域の介護施設や障害者施設を訪問し、ボランティア活動を行いました。施設の方のお世話をしたり、一緒にお菓子づくりなどの作業をするなど、直接触れ合うことで、サポートする側、される側の両方の立場に立って、たくさんのことに気付き、学びました。



障害者とのむきあい方講習会



障害のある人もない人も共に幸福に暮らせる社会を目指して、小松市ふれあい福祉課のご協力をいただき、障害のある方とのむきあい方や手話などを学びました。

コマニープラスバンド部(ブルーリアン)



笑顔あふれる社風づくりと地域に根付いた音楽活動を目的に、社内の行事・イベントでの演奏や野球部応援の他、地域のイベントや福祉団体への訪問演奏を積極的に行っていきます。



5-2 日本貢献

全国各地に販売拠点を構えるコマニーでは、そのネットワークを生かし、積極的な社会貢献活動を全国で展開しています。

南三陸町ボランティア



2011年3月に発生した東日本大震災により甚大な被害を受けた宮城県本吉郡南三陸町で、今年も新入社員がボランティア活動を実施しました。

熊本ボランティア



2016年4月に大きな地震が発生した熊本で、ボランティア活動を行いました。また、道の駅「阿蘇」へ当社の商品を寄贈し、復興イベントで有効活用されるなど、さまざまな支援を行いました。

九州北部豪雨災害

2017年7月に発生した豪雨災害では、従業員の皆さんから寄せられた支援金で、送風機3台を従業員自らの手で被災地へ届けました。その他にも、車両や支援物資など、現地で必要とされているものを、現地のNPOと連携を取り届けました。今後も、必要とされる人手に対しても、社員やその家族からボランティアを募り支援を続けていきます。



5-3 世界貢献

世界各地には解決を必要とする多くの課題があります。グローバルに事業を展開する企業として、幅広い課題の解決に積極的に取り組んでいます。

カンボジア支援

地球の宝である子どもたちの明るい未来のために、世界でできる社会貢献活動として始まったカンボジア支援活動。昨年も井戸6基の他に、本、本棚、牛を支援し、現地の人たちと交流を深めました。そして、子どもたちに学ぶ環境を提供するため、新たに図書館建設へ向けてのプロジェクトも動き始めました。



ピースフレームムーブメント

原爆の残り火である「平和の火」を灯し、世界の平和を考え、祈るピースアクションです。今年は、地域のイベントに参加して、市民のみなさんと一緒に小松市木場潟公園で「平和の火」を灯し、夏の夜空に平和を願いました。



6 コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

私たちは、経営の理念をもとに、企業価値を増大させ、経営効率を高め、公正で迅速な意思決定の向上に努めていくことをコーポレート・ガバナンスの基本方針としております。今後も経営の健全性および透明性を確保するために、経営監督機能および法令遵守体制強化の重要性を認識し、コーポレート・ガバナンスの充実を図ってまいります。

○ 1. コーポレート・ガバナンスの体制

当社は、監査役制度を採用しており、取締役は9名、監査役は4名であります。

取締役会

取締役会（経営方針の決定、業務執行の監督機能）につきましては、月1回定例開催しております。なお、事業環境の変化に迅速に対応できる経営体制を構築するため、取締役の任期を1年としております。

取締役会の諮問機関

委員の過半数が社外役員で構成されている報酬諮問委員会及び指名諮問委員会を設置、運用しており、指名諮問委員会は、取締役会からの諮問を受け役員等の人事等を審議し、報酬諮問委員会は、取締役会からの諮問を受け役員等の報酬等を審議し、取締役会に答申することで、この事項に関する客観性及び透明性を確保しコーポレート・ガバナンスの強化を図っております。

監査役（会）

監査役会において定めた監査方針・監査計画に基づいて、監査役は取締役会等の重要な会議に出席し、取締役の職務執行を監査できる体制となっております。

常務会

常務会は、経営戦略・経営計画など、取締役会において審議を行うものと、常務会にて経営陣に委ねるものを明確にし、取締役会による監督および意思決定と業務執行の分離を図っております。

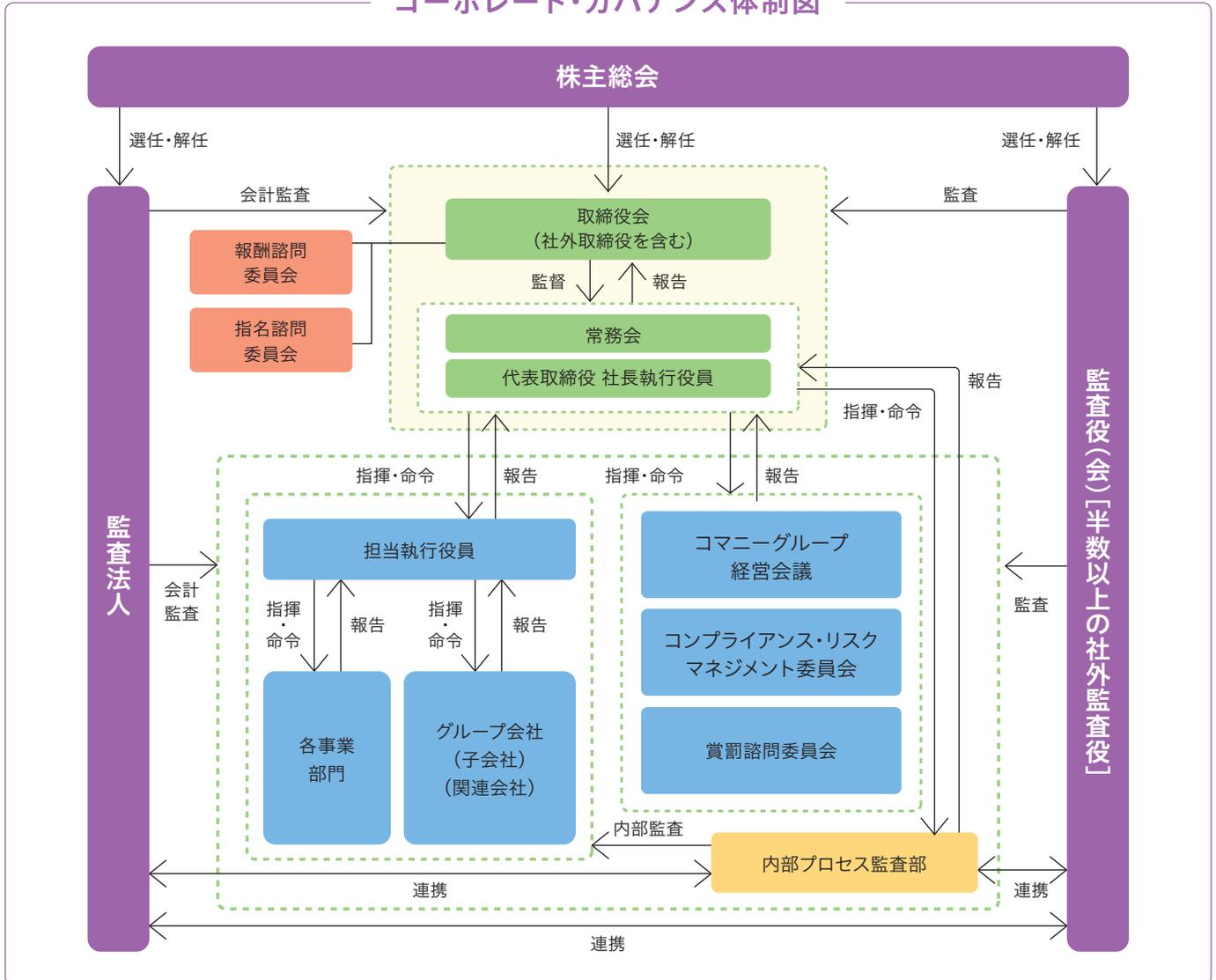
コマニーグループ経営会議

コマニーグループ経営会議は、月1回開催され、社長執行役員が議長となり、執行役員、連結子会社の役員に加え、関係部門責任者が参画し、経営戦略の全社共有化を図り、事業環境の変化に迅速に対応できる意思決定に結びつけております。

コーポレート・ガバナンス体制一覧表

機関設計	監査役会設置会社
取締役の人数(うち、社外取締役)	9名(3名)
監査役の人数(うち、社外監査役)	4名(2名)
取締役の任期	1年
執行役員制度の採用	有
取締役会の任意諮問機関	指名諮問委員会・報酬諮問委員会
会計監査人	有限責任 あずさ監査法人

コーポレート・ガバナンス体制図



2. コーポレート・ガバナンスの取り組み

私たちは、様々なステークホルダーに信頼される企業であり続けるために、多様かつ長期的な視点からコーポレート・ガバナンス体制を構築してまいります。昨年度の内部統制上重要と考える主な取り組みは、次のとおりです。

経営理念の徹底及び内部統制監査の取り組みについて

当社グループは「我らの精神は人道と友愛である」という心をベースとしたコマニー理念のもと、その浸透を図るため「コマニー理念手帳」を作成し、毎朝の朝礼時に輪読を行っております。また、理念教育として「コマニー理念研修」を毎年実施し、役員及び従業員への理念の浸透を図っております。

さらに、職務を執行するにあたっての遵守事項として定めた「コマニーグループ行動規範」を定め、法令、企業倫理、社内規程等を遵守し、社会規範に沿った責任ある行動をとるよう当社グループ内への周知徹底を行っております。

これまでの取り組み

1999年	執行役員制度を導入
2004年	取締役の任期を1年に短縮
2008年	報酬諮問委員会を設置
2013年	社外取締役制度を導入
2015年	取締役会自己評価を開始 指名諮問委員会を設置 常務会を設置
2016年	社外役員の独立性判断基準を制定 社外役員を1名増員し3名選任



コマニー株式会社
〒923-8502 石川県小松市工業団地1丁目93番地
経営企画部 TEL 0761-21-1201
FAX 0761-24-1901

本報告書はコマニー株式会社ホームページにも掲載されております。

URL <https://www.comany.co.jp/>



UD
FONT



このカタログは、環境に優しい
植物油インキを使用しています。

第2版

○このカタログの内容は2017年9月現在のものです。○商品改良のため予告なく仕様を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。○カタログの写真は印刷のため、商品の色と多少異なる場合があります。

B1605-②-1-1500